

大東ふれふれ帳

(1)

ふるさととめて 花いちもんめ

ちょっと気取って、着飾

ったお母さんが行き交う入

あまりが咲きにおう。東の山辺に近く、広大な関電中垣内変電所を挟む古堤街道と、阪奈道路下り線

た桜、手の届かぬ高根の花とはこの事をいうのであるうか。

戦国期の古城、飯盛城跡も、いまは市民の憩の場。山頂、尾根一帯に近年植えられた桜が、豊かに花をつ

に始まり『散りそめ』に至る、とかいう、『桜吹雪の長い階段のぼりつめると絵

やがて上級生に引率され

たかわいい小学一年生の登

満開どきは、豪華けんらん

花木の王者である。花の観賞は、『つぼみ』

む。自然の演出に惹かれる

花の季節の山路である。(文 今村安和)

がたなびき、淡い日ざしが

倒され、声のむ景勝であ

る。いずれも今は、激しく流

れ行く車の波に、花の色、

香をたづねてそぞろ歩きを

に桜がほころび始めると、

楽しむ人の姿もまばら、流

れる車の窓から信号待ちの

数秒、つかの間のあわたた

しい花見ゾーンである。

来春、市制三十年を迎え

るこの町も、人口十二万を

静けさと、緑と、花を訪

ねて、飯盛の山路をたど

る、整備された絵日傘ハイ

超え都市化の進むなかに、

際立って美しさを競う桜、

旧南郷中学校跡の十数本の

キングコースをはずれ、

遠く物寂びた山中にカリッ

古木、住道中学、住道南小

学校の堀割沿いの桜並木

ラワーのように盛りあがっ

て、古歌に『……朝日に、

日傘の舞』と、大東慕情に

老・若、さまざまの、百本

ラワーのように盛りあがっ

て、古歌に『……朝日に、

日傘の舞』と、大東慕情に

歌いあげている野崎観音の



桜の名所「野崎観音」は、多くの花見客でにぎわいます